



# 生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

お問い合わせは村民会館へ  
TEL 64 - 2134

## 第18回村民綱引き大会

# 力の勝負 応援にも力

二月一日、「第十八回村民綱引き大会」が村民会館アリーナを会場に開かれました。

今年も、過去最多の一般の部に十五チーム、小学生の部に十二チームが出場。全六十



七試合の熱戦が繰り広げられ、会場は一試合ごとに大きな声援が響いていました。  
一般の部は、全て一本引き形式で対戦し、予選リーグの上位三チームで決勝リーグが行われました。優勝したのは川北和楽。予選・決勝ともに圧倒的な力を見せつけ、昨年に続き連覇を達成しました。  
川北和楽の石山裕二さん（松平）は「連覇を目指して一年間練習を積んできました。来年も優勝を目指します」と、優勝の喜びを話していました。  
また、女性チーム同士の対決にも注目が集まり、力のこもった長期戦の末、七ヶ谷ブルブルレディースがハニーズ女川に勝利しました。

## 第20回記念

## 日本海カップ

## 綱引選手権大会

期日 2月8日

会場 新発田カルチャーセンター

成績

男子一般の部

準優勝 川北和楽

## 図書室の窓から

村民会館図書室

一步一步春が近づいてきました。生き物たちも着々と新しい季節への準備を始めています。お天気の良い日はお散歩がてら図書室へおいでください。素敵な本との出会いがありますよ。

### この本よんで!!

「はるですよふくろうおばさん」  
長 新太作/E子



さむがりのふくろうおばさん。最初は体をすっぱりつむセーターを編んだのですが、まだまだ寒くて...。ナンセンス絵本の巨匠、故・長新太が贈るふしぎワールド!

### 今月の1冊

「そうだ、葉っぱを売ろう!」  
横石 知二著/602ヨ



どん底の過疎の町...それが今では70代、80代のおばあちゃんたちが売上2億6,000万円のビジネスを支える注目の町に変貌した!著者が成し遂げた偉業が明らかに!



### 今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。

女川～川北～沢 方面 ... 15(日)  
大島～大石～片貝方面 ... 22(日)

## 21日(土)はおはなしのかい みんなできてね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界...。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎!無料です!

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント!

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は13時～17時30分まで、土・日は9時～17時まで開館しています。

そのほか、小学生の部も予選リーグ・決勝トーナメント方式で順位を決定。豪・強・剛土沢が頂点に立ちました。

大会結果

一般の部

優勝 川北和楽

準優勝 ゴールドベアーズ (七ヶ谷)

第三位 川北チーム

小学生の部

優勝 豪・強・剛土沢

準優勝 川北スマイルビク

トリーズ

第三位 ナポリタン女川

敢闘賞 関小フrawワ

# 大会結果

\* 敬称略

## 村上市荒川地区

### 卓球大会

期日 1月18日

会場 荒川地区総合体育館

成績

団体の部

第3位 関川クラブA

個人の部

小学生男子

第3位 加藤 和樹(下関)

小学生女子

第2位 沢田 梨奈(大島)

中学生男子

第3位 須貝 拓馬(大島)

一般男子

第3位 内山 誠(大島)

一般男子壮年

第3位 須貝 秀之(大島)

### 第21回 村民

#### 囲碁・将棋大会

期日 2月11日

会場 村民会館休養室

成績

将棋Aの部

優勝 中束 光久(下関)

準優勝 御簾野良平(下関)

第3位 八幡 孝(片貝)

将棋Bの部

優勝 安達 保弘(大石)

準優勝 伊藤 昌義(下関)

第3位 近 正次(下川口)

囲碁の部

優勝 佐藤 忠良(朴坂)

準優勝 加藤 義彦(内須川)

第3位 大沼 剛一(上土沢)

### 第2回 白い森林

#### 小・中学生バレー

#### ボール交流大会

期日 1月24日

会場 小国町民総合体育館

成績

小学生の部

第3位 関川ジュニアバレー

ークラブ



# 随想リレー

60

先生から  
先生に



高橋晴樹先生

(川北小学校 教頭)

福島県二本松市、新潟県弥彦村といえ  
ば、秋に行われる菊祭りでは有名な所であ  
る。二本松の菊祭りは、いろいろな種類  
の菊を飾っており、大勢の人でにぎわう。  
特に、大河ドラマの武士は、人や着物  
までそっくりに菊で飾るので圧巻である。  
私は最近まで「菊」といえば、食べる  
菊の他は全くといっていいほど興味がな  
かったので、菊が飾りにされてあっても  
ほとんど観ないでさっさと前に進むだけ  
であった。

五月には、冬期間置いてある鉢の中か

ら出ている菊の芽を砂に挿し木を行い、  
根が付いたら鉢に移し肥料をやる。それ  
からは毎日水やりである。特に、夏の暑  
い日は朝・晩と水やりをしないとすぐに  
枯れてしまうので目が離せないのが難し  
い。茎が太くなり、背も伸びてくると、  
支柱にしつかり結び付ける。風で曲がっ  
たりしてなかなかまっすぐに伸びてくれ  
ない。つぼみが付くようになるとどこか  
ら来るのか虫がたくさんつくよつになり、  
その度に殺虫剤の世話になる。何とかか  
んとかが花が咲く頃は十月の終わりごろで  
ある。三本立ての「天人」や「福助」  
等は、まさに四苦八苦の連続である。ま  
だまだ菊の心には至っていない。

4月1日号は、安達智美先生(関川中学校)に  
バトンタッチ!